

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
 プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	スプリセルCML
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	CML*1
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	CML-2
登録日・更新日	2009年7月29日
削除日	
出典	スプリセル添付文書
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1 (慢性期)	スプリセル	20, 50mg	100mg/body/Day	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PO)	1回/日	連日
No.2 (移行期又は急性期)	スプリセル	20, 50mg	70mg/回 *2	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PO)	2回/日	連日

1コースの期間	日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<p>【血液系】 好中球数/血小板数:好中球数<1,000/mm³又は血小板数<50,000/mm³ (1)好中球数1,000/mm³以上及び血小板数50,000/mm³以上に回復するまで休薬する。 (2)1日1回100mgで治療を再開する。 (3)血小板数が25,000/mm³を下回るか、再び好中球数が7日間を超えて1,000/mm³を下回った場合は、(1)へ戻り、2回目の発現時は1日1回80mgで治療を再開し、3回目の発現時は投与を中止する。</p> <p>【非血液系】 副作用の重症度:グレード3又は4 (1)グレード1以下又はベースラインに回復するまで休薬する。 (2)1日1回80mgで治療を再開する。 (3)再び同じ副作用(グレード3又は4)が発現した場合には、原則として投与を中止する。</p>
前投薬	
その他の注意事項	血液検査は投与開始前と投与後の2ヵ月間は毎週、その後は1ヵ月毎に、また、患者の状態に応じて適宜行う *1 イマチニブ抵抗性の慢性骨髄性白血病 *2 1回90mgを1日2回まで増量できる

記入者	安室 修
確認者	山倉 昌之